

ヤマザクラ 2011 本プロジェクト 第5回植樹祭（2018年3月18日）のご報告

奥松島復興の会



前日の台囲苗畑での掘りとり。大きな苗は3mを超え、なかなかの難事業。

さる3月18日（日）に第5回植樹祭が行われました。一週間ほど前にはあまり思わしくない天気予報されていた両日ですが、気温はやや低かったものの良い天気に恵まれ、たくさんの方々のご参加を得て成功裏に終了しました。

前日：苗掘り

17日（土）の午後は地元の人と有志16名で植樹祭に植える苗のほりとりを台囲苗畑で行いました。成長の良いものは3mを超え、なかなかの作業でした。今回は仙台市にある縄文の森広場に20本程度の苗木を里子に出すこともあって、縄文の森広場の植栽の管理を担当している造園業者の方がおいでになったので、苗の掘り方をプロから伝授して頂きました。今年の苗は活着が良いことが期待されます。縄文の森広場も縄文時代の山田上の台遺跡の保存活用につくられた施設で、いわば山の縄文村と海の縄文村である里浜とのヤマザクラを通した文化交流が生まれたこととなります。遠来の参加者はいつものように島内の民宿に泊まり、夕方には地元の方々も交えて和やかな「前夜祭」が行われました。

当日：第5回植樹祭

18日（日）は県内外の実に59名もの参加を得て、植樹祭が9時半から行われました。縄文村歴史資料館の前で開会式の後、さっそく資料館玄関にあたる築山の4本のうち1本が枯れたのを植え替え、新たに資料館右手の公衆トイレの前の築山に5本を植えました。その後全員で県立自然の家の駐車場に移動しました。自然の家には昨年48本植えたのですが、そのうち実に30本が枯



資料館前築山での植樹

れてしまったので、その30本の植え替えをしました。枯れた苗の多くは一番河川側の大駐車場の周囲に植えたもので、どうも排水が悪くて根腐れを起こしたのが原因のようです。今回は株を浮き気味に客土を入れて植えましたので活着が期待されます。



自然の家駐車場廻りの補植。水はけの悪い場所でたくさんの苗が枯れました。

その後はそこから室浜とウォーキングトレイル公園の
二手にわかれまして。室浜では 8 本補植しました。ト
レイル公園では東屋の一本がオオシマザクラと判明
したことからヤマザクラ苗に交換した他、枯れた 5
本を補植し、新たに現在の植栽した並木の山側にほ
ぼ一列に 17 本を植えました。

時間にゆとりがあれば苗の移植も考えたのです
が、結局「予定通り」で、資料館前に再度集合して
閉会式を行いました。閉会式では東松島市長、強調
もおいいただき、ヤマザクラプロジェクトへの理
解と事業の進展、参加者への感謝とねぎらいの言葉を頂きました。

交流館でおいしい仕出し弁当をたべたあと、有
志の方々により史跡公園への新たに 16 本の植樹
が行われ、更に大きいポット苗（播種後満 3 才）
168 本を台圃苗畑に植え込む作業を行い、今回の
すべての作業完了となりました。

こうして、これまでに資料館前、史跡公園、室
浜団地、自然の家、ウォーキングトレイルに植え
られているヤマザクラは 171 本（史跡公園の昨年
までに植えたもの 5 本程度が枯れている）となり
ます。2011 本にはまだまだですが、着実に本数が
増えてきています。一方、苗の生産の方は現在 3 年

生以上の苗（台圃苗畑）が 189 本、今回の植樹祭で台圃に植えたのが 186 本、資料館で育成して
いる 2 年生苗（大きいポット）が 1429 本、1 年生苗が 1113 本、合計で 2917 本あります。こ
れ全部が植樹に適した大きさに育つわけでは無く、また、中
にはオオシマザクラ、カスミザクラの遺伝子が優占する個体
も混じっているでしょうから、新規の苗はもう少しつくる必
要がありそうです。

そして、今後の問題は植栽場所です。地元と相談して、
2011 本の植栽場所の確保に努める予定です。



今回も多数の方々にご参加頂きました。



台圃苗畑で植え替え作業